

東海大学 がん看護・緩和ケア研究会

2月の事例

あらゆる手段によっても一向に改善しない悪心と嘔吐。

抗がん剤の話が出ただけでも嘔吐してしまうようになり、患者の苦痛は増すばかり...

「こんなに辛いのなら、治療はもう嫌！」と流涙する患者に、看護師は苦痛緩和を図ろうとさまざまな介入を試みる...

**症状コントロールが困難な化学療法の副作用に
苦しみ、闘病意欲が減退してしまったケースを看護モデルを用いて分析します。**

**嘔気緩和についての海外の研究成果を導入し、
よい良い看護介入を探求します。**

- 開催日時：2013年2月23日（土）13:00～16:00
- 場所：東海大学伊勢原キャンパス 3号館1階会議室
- アクセス：小田急線『伊勢原駅』下車
徒歩20分またはバス10分(東海大学病院下車)
- お問い合わせ：tokai.gankango@gmail.com
- 資料代として200円をご準備ください。